

井形学部長の特任辞退を原告に要請する6つの理由とその事実関係の対比

◆ 特任拒否理由

2012年10月15日18時～19時40分 特任辞退の要請に井形学部長がみえる

結論	今後の授業の件についてカリキュラム委員会として全員の総意で、 次の6項目で今回の授業計画を認めがたいということになり、特任教員申請を辞退してください。
1番目	二部科目としておかれている情報ネットワーク論Ⅰ、Ⅱと情報経営論、情報バリューエンジニアリング、演習Ⅰは 二部科目としては存在しない。 吉井先生は一部の講義科目を二部の講義時間帯にもっていつているということがカリキュラム委員会の見解。
理由1	2010年度の国内留学を終えた段階で就業規則上の義務コマ数をこなすため、特別に一部科目を夜間開講しており、 現状では一部科目の複数開講であるため、再雇用の判断にあたっては、これを認めるのは難しい。
理由2	これらを2013年度開講するには二部科目として新設する必要があるが、二部科目は昨年度から必要度の低いものを 不開講して廃止を続けているので急に新しい科目を新設することは難しい。
理由3	演習Ⅰの夜間開講には驚く。演習Ⅰは募集時に30名の採用を主張し、24名を採用。 これは学部の演習定員基準を無視、違反するもので、学部の教学システムを理解していないのではないかと。
2番目	外国書講読Ⅰ、Ⅱは、カリキュラム委員会では従来から廃止の意見があること、現状の担当者では開講の成果に つながっていないので、より相応しい方が担当すべきでないかというカリキュラム委員会の意見
3番目	吉井先生は本学の教育システムを理解していない。
理由1	2012年の講義計画と、今回提出の2013年講義計画を比較すると、 バリューマネジメント論と環境経営論の開講・不開講の記述部分に問題がみうけられる。
理由2	当時の教務委員会、カリキュラム委員会に出席されていなかったという意見がある。
理由3	過去5年間の教授会の出席状況がよくないのではないかと
4番目	採用科目である情報管理論の後継科目である経営情報論は、 経営情報学部が廃止されたように今目的には独立科目としての重要度が低くなっており、 カリキュラム委員会としては不開講と判断している。
5番目	情報バリューエンジニアリングが学部の体系上必要かは不明である、というカリキュラム委員会の見解である。
6番目	吉井先生のご希望の授業計画案の殆んどは当該学部には不要、もしくは必要度が低いという意見が総意である。 学部教学開講ルール違反など、学部教学システムの運営に支障をきたしており、 カリキュラム委員会としては吉井先生の科目および吉井先生の特任教員は認めがたい、これが結論である。
	次の3段階で、特任人事を進めるには無理があり、辞退を要請する。 第1段階： 学部長と吉井先生との間で科目を決める際に、カリキュラム委員会の検討段階で担当科目は不要と 判断している。カリキュラム委員会と学部長は一身同体であるため、特任人事は進められない。 第2段階： カリキュラム委員会の反対のもとでは、江島教務委員長と学部長が推薦委員会にもっていくのを止める という意思決定もある。仮に持っていったとしても、学部の合意がないということで却下されるでしょう。 第3段階： 仮に推薦委員会を通過したとして、教授会の投票で3分の2の可が必要であるが、 今の学部の状況から認められるとは思われない。したがって、特任教員の申請をおりてください。 私は先生に恥をかかせるのが非常につらいのです。